

## シリーズ・同期会

## 37会(S37年同期入社)旅日記

中庭 徹

12月6日から8日まで、2泊3日の忘年会を兼ねて、沖縄旅行を実施いたしました。某旅行会社のツアーに参加して、羽田までの送迎バスに乗り込み、空港で他地区の参加者と合流し、総勢35名の団体旅行となりました。

出発は、朝5時バスに乗車というハードなスケジュールとなったが、会員全員(14名)参加の快適な旅であった。同期の旅行は、前回の(香港・マカオ・シンセン)旅行から2年ぶり。また、沖縄は28年前の若き日に来ており、今回2回目である。前回は、数名が都合で参加できなかったこともあり、今回この地を選んだ一つの理由でもあります。観光は天候に恵まれ、気温20度と最高条件の下、各地を巡ってまいりました。定番である観光の一部を紹介しますと。

「1日目」・首里城公園の見学。ただ残念だったのは守礼の門が改修中で全容が拝見できなかったことです。

「2日目」・海洋博公園へ。広大な大自然に囲まれた花と海と緑の公園である。敷地内には数々の見学施設は有るが、脚力と時間の関係で「美ら海水族館」に入り、最大級ジンベイザメ・マンタを見てただ驚くばかりであった。その後万座毛へ。東尋坊のような断崖があり東シナ海の眺望を見て大感激。(右の写真)



「3日目」・玉泉洞へ。国内最大規模と言われる、鍾乳洞の造形美を890メートルのわたり見学をしました。

ひめゆりの塔にも参拝しましたが、特に心を打ったのがこの地でありました。学生でもある若い女性が、戦争の犠牲になった悲痛な歴史を語る場所である。その後、普天間基地を車窓から見学。現在世間を騒がせているオスプレイを見ることはできなかったが、自衛隊基地でのPAC3配備は目にすることが出来た。戦後生まれの私たちは、平和と言う簡単な二文字だが、そうあってほしいと願うばかりである。

三日間に亘り、沖縄の伝統芸能である島歌三線ライブ・エイサー踊りを3回も観覧することが出来、さらに旅行を楽しむものにいたしました。夜の楽しみでもある宴会では、ツアーの関係で他のお客さんもおり、盛り上がりがもう一步の所もあったが、アルコールが減り逆に良かったと、幹事として自己満足しております。しかし、道中・ホテルでの会話は、年齢のせいかわ体調の話題で持ちきりである。その反面喫煙者は同期14名中8名もいる。私もその一人である。今後も健康には留意し、更に同期の絆を継続し向上を図りたいと思う。

